



## ～みんなでつくろう！安心・安全な学校生活～

保護者の皆様、いつも本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

近年、社会全体で「規範意識」の重要性が改めて問われています。「規範意識」とは、社会のルールや約束を守り、他者を思いやる心を持つことです。

学校生活においても、挨拶や時間を守ること、物を大切に扱うこと、友達を尊重することなど、日常の小さな行動が子どもたちの心を育てます。

### ●秋の遠足で次のような場面が見られました。

- ・友達とお菓子の交換をしている  
(アレルギー対応のため食べ物の交換は禁止しています)
- ・お菓子などのごみを片付けない
- ・歩きながらや電車の中で飴やガムを食べる

※遠足で楽しくて興奮していたことはわかりますが、約束を守る子どもになって欲しいです。  
「約束やルール」はみんなのためにあります。みんなの中には自分も含まれています。

### ●学校生活の中で次のような場面が見られることがあります。

- ・学校のトイレにお菓子の袋が落ちている
- ・学校の掲示物に落書きやいたずらをする
- ・悪いことをして先生から注意されても、素直に反省できない
- ・友達をばかにしたり、からかったりする

※誰がやったのかを尋ねても、やった人は出てきません。自分の行いを振り返り、素直に認め、正そうとする人に育ってほしいです。

※友達に対しての行為は、軽い気持ちで行ったことかもしれません。しかし、された側にとっては深い傷となり、いじめにつながる危険があります。いじめは決して許されない行為であり、学校としても早期発見・対応に努めています。

本校では、今後も学級活動や道徳科の学習、日常の生活指導を通じて、子どもたちが「なぜ、ルールや約束があるのか」を考え、自分から進んで守る力を養うことをめざしていきます。

ご家庭におかれましても、ルールや約束を守ることの大切さや、人との関わり方について話し合う機会をぜひ設けてください。どうぞよろしくお願いいたします。